

キャメロンハイランドで

気楽に・楽しく・安全に過ごすために

※新規入会時の説明書



タナラタメインストリート

1. はじめに
2. 重要性の優先は
3. 異国生活であることを肝に銘じる
4. 気楽なお付き合い（自由と我がままは違います）
5. 煙たがれる人にならないために
6. マレーシアで安全に過ごすために（大使館の安全対策の手引き）
7. キャメロン会会員からの KTA 通信投稿記事
 - 1) 海外で初めて体験した入院と手術
 - 2) ケガ・病気の緊急対応のお助けマン
 - 3) タナラタのインターネット事情
 - 4) 日頃の連絡に現地の携帯電話
 - 5) スマートフォンの注意事項
 - 6) タナラタ賃貸アパート事情
 - 7) 「あるがまま」を受け入れる
8. パスポートについて
9. 付記 外務省提供資料



編集作成 20180501

改訂 20180904

事務局 豊住久

キャメロンハイランドで気楽に・楽しく・安全に過ごすために

1. はじめに

私は2011年に入会して多くの方々にキャメロンでの過ごし方を教えていただき、また自分自身も色々な体験をしました。初めてタナラタを訪問したとき、シャバの話はご法度です！と必要最低限の心構えを先輩方に教えていただきましたので、それらのことに私の体験談を加筆させていただきました。

キャメロン会はホームページを中心とした**情報発信型の運営**に変化し、会員はネット情報を活用し、**自己責任**の滞在が基本であることをご確認ください。

2. 重要性の優先は

命の次にパスポート、その次がインターネットの活用とされています。マレーシアは日本より物価も安く、気候的や親日的な政策で大変過ごしやすい国です。しかしここは異国でありこの国に迷惑をかけることや、法律違反をすると日本の刑罰よりかなり重い代償を支払うことがあります。

ある日本人の方がMM2H 取得のため、日本から多額のRM現金を持参して、税関に申請したところ法律違反とのことで、その場で2日間拘留されました。日本円の持ち込みや銀行振込なら問題がなかったそうですが、単なる勘違いでも処罰された事件です。※持込・持出 RM の制限は RM1,000 以下です

3. 異国生活であることを肝に銘じる

異国では日本の常識や法律は通用しませんので、物価が安い、親日的な笑顔などと表面的な感覚でいると、思いもよらない落とし穴が（陰）あることを肝に銘じた方がよいでしょう。

万が一病気やケガになったときは、ホームページの会員サイト、事務局アーカイブにある「若し海外で病気になったら..」対応マニュアルをプリントアウトして身近に置くことをお勧めします。

自分の命は自分で守る、自分で守れないときは、他人に補助してもらおう。他人にお願いすることは、それなりの**対価が発生**すると言うことになります。

ホテルに滞在される方は、フロントに連絡すれば緊急に対応してくれますが、アパート住まいの方は、日本と同じように基本的にご自分で救急車を手配する

しかありません。

病院救急依頼電話： 999 又は 05-491-3272

海外旅行保険会社のデスクへ連絡しても、タナラタの情報をもっていないことがありますので、自分で自分の命を守る手段を学ぶ必要があります。

日本にいても生死を分ける脳梗塞・心筋梗塞など時間と勝負の急病がありますが、タナラタにはそれらの手術に対応できる病院（設備機器）はなく、100 km離れたイポアの専門病院に救急車かタクシーで行くしかありません。リスクは日本よりキャメロンハイランドの方が高いことを自覚してください。

物価の安さを享受できるのは、自分が日本で生活するように、すべて**自己責任で行動すれば現地価格**で過ごすことが出来ます。しかし他人の力・知恵（語学など）情報を活用するにはそれなりの対価を支払う必要があります。**情報はタダではない**のです。これを他人にやって欲しいではなく、**これを自分がやるためにはどうすれば良いのか？**がロングステイの基本姿勢であり、当会の方針でもあります。自分の代行で何かをやって欲しいなら**業者に依頼**することです。

海外ではスマートフォンなどの携帯電話やパソコンを駆使して情報収集する必要があります。近々の事例でも日本で契約しているスマートフォンなどの携帯電話の設定（データローミング OFF）を変更せずに持参し、帰国したら30万円の海外通信料を請求されたことが報告されました。海外では海外のルール・設定がありますので、日本で契約されている通信会社などで渡航前に設定方法など学んでください。現地の方は日本語表記の画面操作はできません。

4. 気楽なお付き合い（自由と我がままは違います）

会員同士のお付き合いですが、基本は付かず離れず、取分け食事は割り勘、アルコールは自分が飲んだ分を自分が支払う、車に乗せていただいたらガソリン代を負担する。GIVE、Giveそしてtakeを心掛けた方が良いでしょう。他人を頼り過ぎると嫌われ、重宝がられると疲れますので、その関係は日本に住んでいるときと変わりません。つい異国では他人を頼りがちになるので、なるべく自立して**自己責任**で滞在する覚悟が必要です。

ホテルの良いところは身の周りの世話をしてくれる従業員がいるところですが、長期滞在をすると、ロングステイヤー同士のお付き合いが煩わしいと感じることがあります。朝食のテーブルを誰と一緒にするか？歓迎会・送別会・サークル・サークルの誘いなど頻繁にあり、気が休まらないとの意見もありました。

アパート住まいの良いところは、部屋は3ベッドルームで約80㎡から100㎡の空間があり、他人の目が気にならないところですが、電気・ガス・水道の故障から病気・ケガなどの緊急対応まで、自らの守備範囲として対応しなければなりません。自由度大ですが、その分**自己責任の範疇**は広がります。

自分も過ごしやすい、相手も過ごしやすい、キャメロンハイランド市民も日本人が大好きになる、そのような人間関係の構築を心がけると良いでしょう。

5. 煙たがれる人にならないために（親しき仲にも礼儀あり！）

好かれる人になるより煙たがれない人になる努力が必要でしょう。キャメロン会は**会員同士のボランティア活動で成り立っており**、先輩・後輩の上下関係などはなく、あるのは「長幼の序」だけです。すべての人が「さん」付で呼び合い、お互いに干渉しない大人の人間関係だけです。タナラタは小さな村社会ですから、悪い噂は一晩で広がると思ってください。

皆様からお聞きした「ちょっと気になる嫌なこと」は

- ① 現役時代の有名企業名や肩書を背負った回顧話し
- ② 政治家、芸能人の名前を出して、知人だ！友人だと自慢話し
- ③ 私は何年入会だ！と先輩風を吹かす
- ④ 自分のルールを世間のルールと勘違いして他人に押し付ける
- ⑤ 自分のビジネスや他の団体を会員に宣伝、勧誘する
- ⑥ 理事・委員がやるのが当然と思い「お願いします」が言えない
- ⑦ 申し訳ない、悪かったと素直に謝ることが出来ない
- ⑧ 初めて会った方の個人情報を知りたがる
- ⑨ 語尾をはっきり言わず、忖度を求める
- ⑩ ありがとう！が言えない

6. マレーシアで安全に過ごすために（安全対策の手引き）

平成30年 2月 13日 在マレーシア日本国大使館 発行

1) はじめに：「安全はすべてに優先する」

「外国で生活する」とは、「言葉・習慣・法制度が異なる環境の下で、自分自身で安全を確保しながら、自分の仕事・勉強・生活をする」ということです。これらの大前提には、「安全に日々を過ごすこと」が必要となります。

2) マレーシアの治安情勢：「常に警戒心と心の準備を」

日本人の間では、総じて「マレーシアは比較的治安が良い」という評判を

耳にします。しかし、日本とマレーシアの犯罪統計を比較すると、犯罪発生率は日本の約2倍、中でも強盗事件の発生率は約26倍であり、風評を鵜呑みにすることはできません。

特に、スリ・引ったくりは場所を問わず日常的に発生しており、常に注意が必要です。

3) 事件事故に巻き込まれないために：「**予防が第一**」

日本国内、外国に限らず、初めての土地で安全に生活する上で最も大切なことは、「事件事故に巻き込まれる危険性（リスク）を下げること」です。そこで、誰にでも実行可能で、しかも被害防止に有効な対策を列挙しますので参考にしてください。

- ① 常に動きやすい服装と靴を着用し、手荷物は出来る限り減らす
- ② 荷物・リュックは体の側面・前面で抱え、背中掛けにしない
- ③ 歩行中は時々後方を振り返るなど、不審者がいないか確認する
- ④ 混雑する場所ではスリ・置き引きを警戒し、貴重品はバッグ等の奥に収納する
- ⑤ 荷物は必ず相互の視界に入る位置に置く。座席後ろには絶対に置かない
- ⑥ 「歩きスマホ」は絶対にしない。検索・通話は道路から離れ、立ち止まってやる
- ⑦ 外出中に突然、爆発音や人の叫び声、などの異変を聞知したら、周囲に警戒しつつ、速やかにその場から離れる

4) 万が一、事件事故に巻き込まれた場合は、「**安全第一!**」

金品・荷物を奪われても、「命が助かれば、それでよし」としましょう。

- ① 引ったくり・強盗等に遭遇しても決して抵抗せず、金品を素直に渡す
- ② テロ事件（刃物による通り魔、拳銃、爆弾）に遭遇したらとにかく逃げる ※ 銃声・爆発音が聞こえた場合には、まず伏せて身を守る

5) おわりに

海外生活での安全の基本は「**危険を認識・予測し、トラブルに近づかない**」です。日本での常識は全く通じないことを肝に銘じて、「警戒を怠らず、楽しむ」ようにしましょう。

連絡先・照会先など

【在マレーシア日本国大使館】

<http://www.my.emb-japan.go.jp/Japanese/index.htm>

住所： No.11, Persiaran Stonor, Off Jalan Tun Razak, 50450 Kuala Lumpur

電話： 03-2177-2600

【外務省 海外安全ホームページ】

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

住所： 〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話（代表）： (+81)-3-3580-3311

【在留届（電子届け出システム）】

ORR ネット： <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

【メール・マガジンの申し込み・抹消（随時&簡単）】

<http://www.my.emb-japan.go.jp/Japanese/ryoji/mailmz.htm>

【海外旅行登録システム「たびレジ」】

URL → <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

【海外安全アプリのダウンロード】

URL → http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html

【マレーシアでの日本語ニュースサイト「南国新聞」】

URL → <https://nangokushimbunnews.wordpress.com/>

7. キャメロン会会員からの KTA 通信投稿記事

1) 海外で初めて体験した入院と手術 第37号

若いときに何回か体験していた、尿路結石をキャメロンからの帰国間際に発症、家内は包丁で指を5針縫う切り傷で、夫婦一回ずつ医療のお世話になりました。

帰国の準備で荷物整理をして一段落した夜10時ごろ、右背中の腰上に激痛が走り20年前の激痛を思い出しました。これは我慢できる痛みではないことを自覚しましたが、ここは外国だ！家内と私はただオロオロするだけで、言葉が分からない中やっとタナラタの救急車を呼ぶことが出来ました。とりえあえ

ず、痛み止めの注射を二本打ち自宅に戻りましたが、この痛みを取り除くことは出来ません。翌朝、大家さんに電話して再度、一緒に州立病院へ行って頂き、次の対処方法を聞きいたところ担当医からイポールの **KPJ IPOH SPECIALIST HOSPITAL**（所在地：26, Jalan Raja Dihilir, 30350 Ipoh, Perak 電話：05-240 8777）を紹介されタクシーで駆けつけましたが、生憎担当医が不在で、その受付者から街の診療所を紹介されました。そこにイポー在住の友人が駆けつけてくれ、通訳と案内を引き受けてくれましたが、街の診療所なので不安は募るばかりです。しかし他に頼るところはありませんので、藁をもつかむ思いで痛みを堪えて待つしかありません。

かなり古そうなエコー検査機で調べた結果、尿路に石が有ることと腎臓が腫れていることが判明し、診断書と紹介状を書くのですぐに **KJP** へ戻って入院の手続きし、精密検査をしておくように指示されました。検査結果は診療所の医師に伝えられたようで、すぐに病室へ医師が来て内視鏡手術で今晚取り除くがどうか！と提案されました。色々なリスクがありますが、すぐに手術を依頼して夜10時から全身麻酔開始、目覚めた1時間後には手術は終わっておりました。翌日の正午に医師が確認後、午後には無事タナラタに戻ることが出来ました。もし、手術を躊躇していたら、独立記念日の休日に突入しておりました。

あとで分かったことですが陳先生はこの泌尿器科のトッププロであり、この **KPJ** の専属医師でもあったのです。（診療所の外見で判断したことを反省です）

今回のことから多くのことを学びました。救急車に乗るとき、動けない私を階下のインド人が背負ってくれたこと。家主の力を借りなかったら昼時の休憩時間にイポーへ行くタクシーが確保できなかったこと。イポーで病院や医師との通訳者がいなかったら？ギリギリスのように遊び呆けていないで、現地の方々を含め日ごろのお付き合いが、いかに大切であることを再認識いたしました。

ケガ・病気も含めて自己責任がキャメロン会の掟なのですが、アパート住まいの私としては、何とか有料のサポート体制でも構築できないか？と感じた次第です。また幸いにもすべての治療費が旅行保険のキャッシュレス対応となりましたので、支払いも気になりませんでした。もし帰路途中のバス車中だったら？と考えるだけでゾーッとします。やっぱり英語を勉強しないとイケませんね！！

皆様は下記の－1から－9までの項目のご確認は如何でしょうか？我が家では私たちは大丈夫と勝手に思っており、その前準備が出来ておりませんでした。明日は我が身と考えて、深夜に発生したことを想像してみてください。ホテルだから大丈夫？救急車の手配はするでしょうが、病院への付き添いと通

訳までお願いできるでしょうか？

基礎項目の確認

- － 1. 英語かマレー語の語学はどうでしょうか？
 - ① 夫婦とも大丈夫
 - ② どちらかが大丈夫 言葉を話せる方が急病患者ならどうしますか？
 - ③ 両方とも日本語モード ⇒ これは我が家のケースです！
- － 2. 救急車を呼ぶ電話番号をご存じですか？
- － 3. ご自宅の住所を救急先に伝えられますか？
- － 4. 夜中に救急車を手配するときに、ご自分で出来ますか？
- － 5. 旅行保険の連絡先をご存じですか？一度、電話して確認すると良いでしょう。
- － 6. 旅行保険の保険証・会員番号を第三者が分かる状態になっておりますか？
- － 7. 旅行保険の補償内容をご存じですか？
診療・入院・手術・移動交通費・通訳費・航空券再手配費など
※私の場合は、医療費は当然ですが、通訳料、付き添いのホテル代、
ビジネスシート代まで、病気を起因とする費用は総て補填されました。
総額 100 万円以下の請求は、領収書と要求内容に問題がなければ簡単なようでした。
- － 8. 近隣に助けを求める知人・友人がおりますか？
遠くの親戚より近くの他人が必要です。
- － 9. 「若し海外で病気になったら…」対応マニュアルを読みましたか？
手の届くところにありますか？

この病気入院体験談が何か皆様のご参考になれば幸いです。

2) ケガ・病気の緊急対応のお助けマン 第48号

私は今年の夏に、尿路結石でタナラタとイポーの病院で治療しましたが、そのときの準備不足を反省し、今回、何かセーフティネットがないか探しました。その結果、キャメロンサービスのエレンさんが、自分が出来る範囲との条件付きですが、日本語での緊急連絡などの対応をしてくれることが分かりました。
※エレンさんは日本の北関東館林で13年間暮らした経験があるそうです！

－ 1 連絡先 012-529-1774 日本語・英語 エレン (男性)

ー2内容は、キャメロンハイランド地域内の緊急対応

救急車の手配や病院への送迎、医師との通訳など

※午前6時～午前8時半までは、定時業務があり対応できないときがあります。

また、昼間はツアーガイドなどで業務をしているときは対応できません。

夜間・深夜は対応が可能です。

ー3対応サービス料金：平日・休日

① 昼間 8：30から17：00まで

基本料金 半日4時間以内 RM250 1日8時間以内 RM450

※1時間でも半日料金となります。

② 夜間 17：00から22：00 5割増料金のRM375とRM675

③ 深夜22：00から06：00 2倍の料金のRM500とRM900

④ その他、別途に費用が発生したときは請求に加算されます

また、イポー病院への転院など別途料金となりますのでご相談してください。



キャメロンサービス
代表者: エレン / Mr. Elan
キャメロンハイランドはお任せ下さい

日本語でOK: 携帯電話: 012-529 1774
日本語のブログ: cameronhighlandsservices.blogspot.com

*キャメロン観光案内 *ツアー&ジャングルガイド
*アパート/コンドミニアムの紹介 *カブト虫や蝶の採集
*救急24時間対応, 何事もお相談ください

日本においても緊急対応は自己責任ですが、言葉の不自由なところでは他人の力を借りる方が、間違えがないと思います。私の場合ですが、病気治療に付帯する交通費、通訳費、など全ては旅行保険で賄えました。

3) タナラタのインターネット事情 第16号

今やインターネットによる情報収集、メールなどは私達にとって必要不可欠なツールとなっており、活用出来ないことは地図をもたずに登山するようなもので自慢にはなりません。ここタナラタでの現状をお伝えします。

ー1ホテルの無線LANを利用する

多くの日本人が滞在するヘリテージホテルでは無料でWi-Fiを利用できますが、皆さんが使用する朝晩の時間帯は、送受信速度が大変遅くなります。

ー2飲食店や町の図書館の無料Wi-Fiの利用する

多くの飲食店では無料Wi-Fiが利用できます、passwordを設定してある場合

はお店に掲示してあります。解らないときはお店の人に聞くと親切に教えてくれますが、クレジットカード情報などを活用するときの安全性の保証はありません。



ー 3 自分専用の Wi-Fi 環境を持ち歩く

ルーターと通信 SIM を購入すれば、自分専用の Wi-Fi 環境を持ち歩くことができます。タナラタには Celcom (セルコム) と Maxis (マクシス) の通信会社の店が街はずれのバスターミナルの前に並んで営業しております。



携帯ルーターは便利です。
本体価格は RM 400 程度

ー 4 携帯ルーターを購入するにはパスポートが必要です

Wi-Fi ルーター 1 台でルーター近くの PC や携帯を複数利用することができます。

ルーター本体価格は RM400、SIM (シム) カードが RM10、電波使用料は月単位で、5 GB が RM30 で 10 GB が RM50 ですが、毎年価格は変化しておりますので、ご自身でご確認ください。

ルーターと携帯・PC のジョイント初期設定は業者に依頼した方が良いのですが、日本の携帯などは日本語表記なので、日本語の分からない販売担当者には難題なので、少々手間がかかるとおっしゃってください。

ー 5 プリントアウト

航空会社搭乗便の web check in を利用した時の搭乗券やホテル予約のプリントアウトは、メールで搭乗券・予約バウチャー (pdf 版) を受け取り、その pdf を SD カード又は USB メモリーに保存して街外れの Fuji 写真屋さんに行っていただければ有料 (RM 1/枚) でプリントアウトしてくれます。



4) 日頃の連絡に現地の携帯電話 第 17 号

タナラタに滞在中はガラケーの携帯電話を便利に利用しています。携帯電話会社は Maxis (マクシス)、DiGi (ディジ)、Celcom (セルコム) などがありますが、DiGi が多いように思えます。

ゴルフ場までのタクシーの相乗りを友人たちと相談などの、コミュニケーションには必需品です。日本では携帯電話を持っていないのに、こちらで使用している方もいるほどです。日本への通話ですが、日本の固定電話にもマレーシア国内同様安く通話が出来ますので、毎朝、日本にモーニングコールをかける人がいるほどです。また、通話料はプリペイド方式となっており追加支払い (トップアップ) は電話販売店でできます。



携帯電話のショップは、日曜日広場近くの両替屋の並びにもあります。携帯電話の SIM (シム) カードを購入し、色々な方の電話番号を登録することが出来ますが、使用期間を過ぎると発信が出来なくなります。また、DIGI の SIM (シム) カード入れた携帯は、タイのバンコクでも、そのまま使用が出来ました。

一番、安価な携帯電話本体は RM100 程度で、SIM も RM30 (30 日間使用可) を買えばマレーシア国内通話で困ることはないと思います。しかし操作が英語バージョンなので、少し慣れるまで苦労があるでしょう。

※最近では現地で台湾製 (日本語可) SIM フリー携帯を購入する方もおり、それに日本では日本の SIM を入れることで日本でも携帯として使用が出来ます。

5) スマートフォンの注意事項 第47号

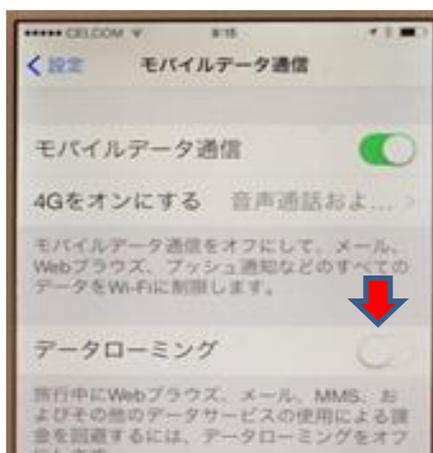
スマートフォンは電話と小型のコンピューターの機能を有しており、大変便利な携帯電話です。しかし、海外でその取り扱いを間違えると1日1万円程度の通信パッケージ料金が加算されることがありますので、海外用の設定を学んでください。設定と取扱について販売店で教えてくれます。海外パケット使い放題は1週間程度の短期滞在の方には良いのですが、それ以上滞在するならば携帯ルーターの購入がお得です。



スマホは表面的に電源が切れているようですが、機械内部では情報を収集するため、その土地の電波を自動的に受信して動いております。日本ではパケット使い放題で、上限価格が設定されておりますので問題ありませんが、海外ではその設定をしないと、無制限に使用料を請求されることになります。



日本を出国する前に、ソフトバンク、NTT、AU など、ご自分の携帯会社へ行き、海外パケット使い放題の設定をすると一日、Max 3,000 円程度だそうです！それを忘れたら、とりあえず機内モードにする。電話など電波を使用する機能は使用出来ません。



飛行機から降りたら、設定画面から、モバイルデータ通信の画面に移り、データローミングを **OFF** にすると、その土地の電波を勝手に使わなくなり、Wi-Fi 専用機能モードになります。この状態ならWi-Fi 環境がある場所で、LINE (ライン) などの SNS を含む携帯電話機能を使用することが出来ます。Wi-Fi 専用状態で、携帯ルーターを使用すれば海外パケット使

い放題と同じ状態になり安心です。

ルーター本体の購入は RM300、SIM (シム) カード RM10 情報使用料は 6

GB RM30/月程度で済むためお得だと思います。

日本の空港で短期用に Wi-Fi ルーターと SIM (シム) カードをセットでリースしておりますが割高ですので、まずは日本の携帯ショップで状況を確認してください。

6) タナラタ賃貸アパート事情 第25号

最初はヘリテージホテルに宿泊しておりますが、長期間の滞在となると、もう少し広い空間で、外食も飽きたので自炊したい、などのことからアパートに住居を移し、ロングステイを満喫している方々も多くおります。そのアパートをどう探すのか?体験談でお話し致します。

— 1 住宅建設方法

新規開発物件を視察に行き販売員から聞いた話ですが、こちらで建設され販売する物件の殆どが躯体渡しで、内装は購入者のオーダーメイドで工事されております。ですから、**部屋ごとに大家が違い、内装も機器設備も違います。**

— 2 不動産屋はなさそうです

日本と違い不動産屋の看板をタナラタ市内で見かけることがありません。その役割を担うエージェントの方がおり CS トラベルにも情報があるようです。日本語が分かるキャメロンサービスのエレンさんに相談するのも良いかも知れませんが、部屋を貸したい人は貸したい部屋の外にレントと書いた広告を掲示しておりますが、語学が堪能でないと電話をする気になりません。やっぱり日本人の方からの**情報収集が一番良い**と思います。日本人に貸したい大家さんは日本人の店子に情報を流すようです。



— 3 賃貸人の考え方

賃貸人の考え方は大きく分けて二つあるようです。①とにかく金!週末に貸

し、それなりのリターンを確保するビジネスライクの方。②週末の短期で貸すと賃貸人が大勢で使用するため、部屋が汚れる、傷む、物がなくなる、などから比較的安全で綺麗に住んでくれる日本人へ長期に貸したい！と安心・安全を優先にしている方です。

—4 賃貸契約書はない

日本では考えられないのですが、賃貸契約書を締結することはないと考えてください。無いと云うことはお互いの責任範囲が不明確で、問題が発生した時は困りますが、このリスクを覚悟して貸す・借りる！これがタナラタ流なのでしょう。デポジットの領収書に基本事項を明記するよう依頼してください。

—5 賃貸物件でも大きく違うところ

投資目的の賃貸用として最低限の内装をした部屋と、自分が住んでいて何らかの事情で部屋を貸すことになった物件に分かれております。部屋の価値観は日本と違い暑い国なので、北側の陽が当たらない方が涼しくて良い部屋、と考えられているようです。タナラタは寒いので私は陽の当たる部屋を好みます。

—6 部屋の広さ

この国の方は大家族なので、3ベッドルーム、リビング、キッチン、バス、トイレで80㎡から110㎡程度の広さで建築されております。

—7 器具備品など

日本の貸部屋は裸電球がある程度ですが、こちらはキッチンには冷蔵庫、電子レンジ、トースター、食器、調理器具がありベッドルームにはシーツ、上掛け布団、リビングにはソファ、テーブルなどがあり、普通の生活には困らない設備がついております。

日本人どうしの情報で大きく違う重要なところは（大家さんの考え方）

- 1) ケーブルテレビ **NHK 視聴**の有無を確認
- 2) **洗濯機**の有無（町には洗濯屋とコインランドリーがありますが必需品です）
- 3) 掃除機などの有無

—8 家賃

家賃は一カ月 RM 1,500 から RM 2,200 程度です。短期の日本人には高く、地元の方はその半分くらい？と聞いたことがあります。家賃の中には電気代、ガス代、水道代が含まれており、敷金・礼金を支払う習慣はなさそうです。次回に借りる予定なら RM700 から RM1,000 のデポジットを納めるのが一般的なよ

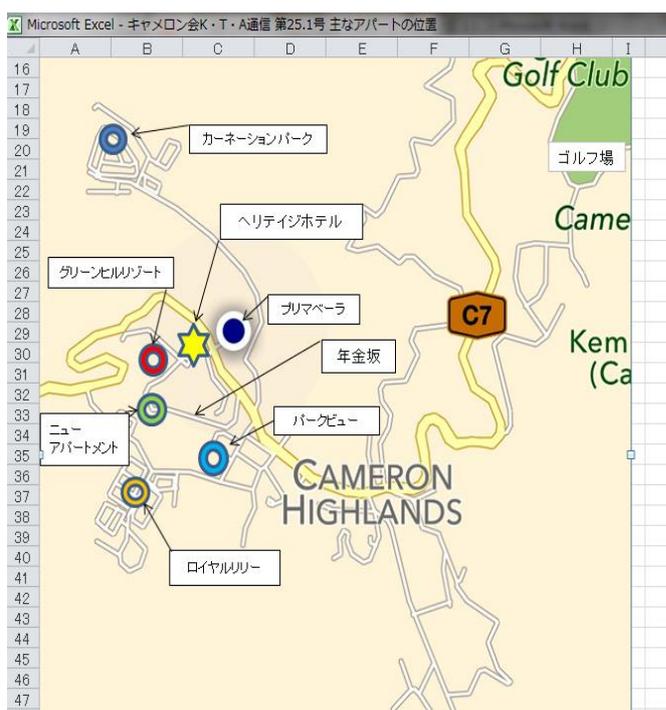
うです。

ー 9 少し困ること

イポーや KL なら水道水の水温が高いので問題はありませんが、キャメロンハイランドの水温が低いので、湯沸器の能力が小さい。食器洗いで使用する分には問題ありませんが、シャワーの湯量が少ないことや、バスタブにお湯を一杯にする湯量が不足して、2から3回に分けてお湯を入れなければなりません。ヘリテージホテルのバスタブが恋しくなりますが、すべてを満足する物件は無いに等しいでしょう。

また、ガスはプロパンなので、ボンベが空になったら大家さんに頼んで交換する必要があります。

ー 10 アパートの位置と月額賃料（聞き込み情報なので参考程度に）



RM 2 0 0 0 前後

- ・グリーンヒルリゾート
- ・プリマベラ

RM 1 8 0 0 前後

- ・パークビュー

RM 1 5 0 0 前後

- ・ニューアパートメント
- ・ロイヤルリリー
- ・カーネーションパーク

※キャメロン会では物件の紹介・斡旋はしていませんので自己責任でお探してください。

7) 「ゴルフの基本あるがまま」を受け入れる 第77号

先日、会員さんとゴルフをしたときのことで。私としては1週間に一度夫婦で9ホールをラウンドする程度なのですが、今回のグリーンの状態を見て、インコースはオンしたら1パットでおしまい！を決めておりました。どうして

も日本のゴルフ場と比較してしまい、フェアウェイやバンカーの状態を自分の技量の悪さを棚にあげ、こんな悪条件でのスコアは自分の実力ではない！と決め、自分の愚かさに気づきませんでした。

今回、初めて同伴させていた方が、このような価格で毎日ゴルフができることは幸せだ！コースが良いとか悪いとか、そんなことは関係ない。キャメロン会のゴルフ大会で、同じ環境でも、素晴らしいスコアでランウドする方もおり、それを実現するために、その方は日々の努力をされているとのことでした。練習は結果にでる！ゴルフの基本は、自分の打ったボールがどこに行こうと、自己責任！あるがままの自然体を受け入れる寛容な精神の欠如に気づかされました。

同じことが、テニスコートでもありました。コートのコンクリート面に水たまりが出来るほど剥げて、イレギュラーバウンドで空振りをすることがあります。こんなコートでは？とっておりましたが、もしこのコートがなければテニスも出来ません。すべてにおいて、日本の「水と安全はタダ」の感覚で比較をし、このタナラタの現状を上から目線でみて、愚痴っぽい言葉を口から吐き出しておりました。

あるときタイのバンコクで、汚い・臭いといったところ、あなたがそんな愚痴を言っても環境は変わりませんよ。この現状を楽しむように自分の価値観を変えた方が、自分も楽しめるのではありませんか？ あなたはこの国の国民ではなく、単なるツーリストですから、批判をしても現状は変わりません。嫌ならこの国を離ればよいのです。そのほうがあなたの愚痴を聞かされている、他人にとっても迷惑になりませんか？と同行者に注意されたことを思い出しました。発展途上国なので色々と不便なこともあり、その国力の違いで為替差益の恩恵を受け、物価安を感じますが、ここの国民の感覚はけっして物価安とは考えてないでしょう。

日本人出ていけ！など隣国では、厳しい目線で日本たたきがありますが、このマレーシアでそのような光景を見たこともありません。人種差別的な行為を体験したこともありません。家内が包丁で指を切り5針縫った時や、私が尿管結石で苦しんだ時でも、町の診療所や州立病院でも親切に対応してくれました。



一年中クーラーのいらぬ気温と新鮮な空気、予約なしでプレイが出来き、芝からボールが打てるゴルフ場、ただ同然で遊べるテニスコート、RM10以下で食事ができ、RM2,000程度で借りられるアパート、突然停電する電力事情、Wi-Fiが遅い・切れる・電波環境など、プラスとマイナスを「あるがまま」を受け入れれば、最高の避暑地・避寒地であることは間違いありません。



キャメロン会のご縁で知り合った方々と、K (気楽に) T (楽しく) A (遊ぶ) 基本理念で、リライブできることに感謝することを忘れておりました。

8. パスポートについて

ー 1 緊急時の連絡先の記載と滞在期間の確認 第26号



単身・ご夫婦の海外旅行で災難にあったとき、周囲の方から手助けされる場合に、当事者以外の連絡先を記載しておかないと、連絡をすることが出来ません。

パスポートには住所が記載されておきませんので、領事館で調査しないと連絡先が分からず無駄な時間を要します。



マレーシアに入国する際に、写真のように入国滞在許可のスタンプをパスポートに押されます。日本人は90日の滞在を許可されますが、間違って30日のスタンプを押されたことがあったそうです。そのことに後で気づきましたが修正できず、30日以内に出国しマレーシアに再入国することになりました。

※日数を確認して間違っていたらその場で指摘！が必要です。

ー 2 パスポートを紛失したら

命の次に大切なパスポートを紛失したらどうすれば良いのですか？私は経験がありませんので、インターネットから記事を調べました。

詳細はキャメロン会ホームページのリンクページをご参照ください。

旅券を紛失、盗難、焼失された方は、日本国の在外公館（大使館・総領事館・出張駐在官事務所）の領事窓口で「旅券」か帰国するためだけの渡航文書「帰国のための渡航書」の発給を受ける必要があります。

連絡先・照会先など

【在マレーシア日本国大使館】電話：03-2177-2600

住所： No.11, Persiaran Stonor, Off Jalan Tun Razak, 50450 Kuala Lumpur

必要書類及び手数料は以下の通りですが、4. ～ 7. は事前に御用意の上来館下さい。このうち紛失、盗難、焼失を立証する書類（ポリスレポート）は、最寄りの警察に届出をして入手してください。戸籍謄（抄）本をお持ちでない方は事前に最寄りの在外公館にご相談下さい。

海外渡航のときは戸籍謄本か抄本、写真を持参された方が良いでしょう

帰国のための渡航書と必要な書類

1. 紛失一般旅券届出書
2. 渡航書発給申請書
3. 事件・事故報告書
4. 紛失・盗難・焼失を立証する書類（ポリスレポート）
5. 戸籍謄（抄）本 1通
6. 写真2枚（縦4.5cm×横3.5cm）
7. 手数料

旅券を紛失等、新たな旅券、または、帰国のための渡航書の交付を受けた方は、次の書類を用意して下記の 入国管理局事務所（Immigration Office）まで出向き、滞在許可事実の確認（許可印の再押印）を受ける必要があります。

※この手続きを終了しないとマレーシアから出国することができません。

入国管理局は、稀に開館時間を変更する場合がありますので、お出かけ前には

開館時間を確認されることをお勧めします。

入国管理局事務所での必要書類及び費用は次のとおりです

新たに交付を受けた旅券、または、帰国のための渡航書

ポリスレポート（遺失、或いは盗難に遭った場合に限る）

航空券【短期滞在者（出張・観光旅行者）に限る】

入国日（事実）を確認できる書類【短期滞在者に限る。航空券や航空会社の搭乗記録、宿舎の逗留記録など】

費用：RM100（2007年11月16日現在）

入国管理局事務所の住所

入国管理局事務所（Immigration Office Enforcement Division）

TEL: 03-8880 1000

Headquarters of the Department of Immigration, Malaysia

Level 4, Block 2G4 (PODIUM) Precinct 2,

Federal Government Administration Centre,

Putrajaya.

Working Hours: Monday to Friday 08:00AM~05:00PM

入国管理局事務所の行き方

大使館よりアンパンパーク駅地下(Ampang Park)へ行きます（徒歩だと15分程度：アンパンパーク駅までの行き方）。↓

アンパンパーク駅（Ampang Park）から「Putra」線を利用して、KLセントラル駅（KL Sentral）まで行きます（電車路線図）。↓

KLセントラル駅から「KLIA TRANSIT」線に乗り換え、プトラジャヤ駅（Putrajaya）まで行きます。

※ ご注意

「KLIA TRANSIT」にはプトラジャヤ駅に停車しない Express と Transit がありますので、Transit に乗って下さい。↓

プトラジャヤ駅からはタクシーのクーポンを購入し、入国管理局事務所（Immigration Office）に行かれることになります。

徒歩で行かれる方への注意：

1. バイクによるひったくりを避けるために、バッグは車道と反対側にお持ち下さい。
2. 一般的に横断者のために車が止まることはありませんので、「Jalan Lorong Kuda」※を横断する場合は十分注意下さい。

9. 付記 外務省提供資料

防犯ビデオ（動画）サイト

1. 防犯カメラ映像で見るマレーシアの犯罪被害例

Youtube「Robbery Crime Compilation Malaysia 2 HQ」（約 10 分間）

URL→ <https://www.youtube.com/watch?v=f96Laj7VOXM>

- 00:00 刃物強盗（白昼の店舗へ客を装い襲撃）
- 00:50 路上強盗（バイク 2 人乗り）
- 01:17 深夜の集団侵入盗（凶器所持）
- 01:48 スマッシュアンドグラブ強盗（バイク 2 人乗り）
- 02:00 バイク集団強盗（バイク 2 人乗り× 2 台）
- 02:24 飲食店への集団刃物強盗
- 03:08 刃物強盗（自家用車で帰宅時に襲撃、バイク 2 人乗り）
- 04:31 ひったくり（白昼ガソリンスタンドで給油中を襲撃、バイク 2 人乗り）
- 06:46 ひったくり（白昼ガソリンスタンド前を通過中、バイク単独）
- 06:54 スマッシュアンドグラブ強盗（渋滞停車中、バイク 2 人乗り）
- 07:17 集団路上強盗(白昼事故車両の運転手を襲撃、車両数台)、集団暴行(室内)

【着眼点】

- (1) 「2 人乗りのバイク」は「犯罪者予備軍」、交通事故を含め常に注意
 - 各種犯行の「下見」行動を行うバイクに注意
- (2) 刃物を使用した強盗は日常的に発生
 - 「最初に傷つけて反撃を予防し金品を強奪」という事例も少なくない
- (3) 「スマッシュアンドグラブ強盗」は予防可能
 - 助手席に荷物を置かない、防犯フィルムを貼付する
- (4) 「ひったくり」はどこで被害に遭うか分からない
 - 周辺警戒、手に多くの荷物を持たない、道路側を歩かない等の予防策
- (5) ガソリンスタンドは隠れた「要警戒スポット」（現金・カード所持者が集うため）
 - 深夜早朝の給油を避ける、給油時も周辺を常に警戒する
- (6) 車両駐車は「バック駐車」が無難
 - 常に背面を警戒、乗降車はゲート閉鎖確認後、トランク開閉は見せない
- (7) 車両運転中の強盗（当て逃げ強盗）に注意
 - 深夜早朝の運転は特に注意、相手方が複数乗車の場合は逃げるのも一手段

以上

下記を含めて記載内容は予告なく変更されていることがありますので、最終的

にはご自身でご確認をお願いします。

ホームページ会員サイト 事務局アーカイブ（文書保管庫）に下記の文書などが保管されておりますので、ご確認ください。

- ・タナラタ銀座商店街情報（改訂は適宜 一般公開）
- ・キャメロン会会則（2018.02.13 改正 一般公開）
- ・キャメロンハイランド訪問の手引き（2018.03.改訂 一般公開）
- ・若し海外で病気になったら・・・対応マニュアル（著作権あり会員専用）
- ・キャメロンハイランドで気楽に・楽しく・安全に過ごすために（一般公開）

あとがき

マレーシア中部の高原地帯キャメロンハイランドは 1998 年にキャメロン会の創始者久保田豊氏によって紹介されました。それ以来、当時まったく知られていなかったこの地を訪問される方が年々増えてきましたが、2010 年を境に日本の経済環境と定年延長、高齢化社会などにより会員数は右肩下がりの状態です。

当会は 2000 年 5 月に Cameron Long Stay Club, Japan として正式に発足し 現在に至っており、他のロングスティクラブと違いキャメロンハイランドのタナラタとプリンチャンの狭いエリアで活動しております。

2015 年末には一度執行部解散の危機があり、急遽、有志が執行部を再結成し、基軸となるホームページの刷新と運営の充実を図り現在に至っております。

その間に会員様から頂いたご意見や私の投稿記事、過去の情報及び在マレーシア日本大使館（領事部部長）濱本博樹様のマレーシアで安全に過ごすために（安全対策の手引き）の講演資料などの文章に、一部加筆・修正しこの情報冊子をまとめました。

新執行部で活躍されている時に他界された、岸波実宗様の投稿記事第 17 号も活用させていただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

また校正・監修で当会会員の説田有佳さん、山田美鈴さんの多大なるご協力を頂いたことをご報告するとともに、ご両名様に御礼申し上げます。

独断と偏見で編集した文章などに不適切な表現があると思いますが、私の教養欠如とご容赦ください。

この情報がキャメロンハイランドで過ごされる方々の一助になれば幸いです。

発行日 2018年5月1日（改訂 2018.09.05）

著者 キャメロン会事務局 豊住久

本書の一部あるいは全部についても無断複写・複製・転載を禁じます。 完